



2008年11月19日

報道関係者各位

第2回懸賞論文 入賞者が決定

～ 論文タイトル「地域ルネッサンスの処方箋:地域活性化のために何をすべきか」～

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクの三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区 社長:元田 充隆)が企画した第2回懸賞論文「**地域ルネッサンスの処方箋:地域活性化のために何をすべきか**」の入賞論文が決まりました。

弊社は、各種受託研究等を通じて「地域活性化」に向けた政策提言に積極的に取り組んでまいりました。本懸賞論文を通じて、多くの若い人々に「地域」に目を向け、若者特有の行動力で、地域の復興すなわち地域ルネッサンスの実現につなげていただくことを目的としたものです。

懸賞論文の募集は、昨年度に引き続き今年度も広く全国の大学生、大学院生を対象に実施し、数多くの応募をいただきました。(募集期間:2008年8月1日～9月16日) 外部審査委員として大西 隆氏(東京大学大学院工学系研究科 教授)、奥野 信宏氏(中京大学総合政策学部 学部長)、嘉名 光市氏(大阪市立大学大学院工学研究科 准教授)と、弊社理事長 中谷 巖、原田 昌彦 公共経営・地域政策部主任研究員の審査員による最終審査会により、以下のとおり、大賞(1作品)、優秀賞(2作品)、佳作(5作品)を決定しました。

大 賞(賞金 100万円) 1作品

「テレワークによる活力ある地域づくりの構想」

豊川 正人さん(早稲田大学大学院 国際情報通信研究科)

優秀賞(賞金 20万円) 2作品

「地域ブランド構築のマネジメント ～日本の「食」産業活性化の処方箋～」

池澤 威郎さん(名古屋市立大学大学院 経済学研究科)

「『限界集落』化の歴史的プロセスに見る山村の未来

～高知県旧物部村の事例から～」

楠瀬 慶太さん(九州大学大学院 比較社会文化学府)



佳作(賞金 10万円) 5作品

「自転車でも楽しい街、京都の交通政策において民間レンタサイクル事業者が果たす役割

～出町柳駅前での民間サイクルシェア事業の分析を通じて～」

尾形 浩一朗さん(京都大学大学院 地球環境学舎)

「公的 direct 支払いに頼らない、消費行動による direct 支払い獲得へ

～原風景を守るための付加価値商品～」

菊池 真純さん(早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科)

「地域ルールの可能性 ～地域特性・価値の創出及び向上を目指して～」

高橋 香菜さん(早稲田大学 社会科学部社会科学科)

「地域空間構造の把握から見る地域内循環システムの再生

～福島県田村市船引町を事例として～」

松尾 真子さん(東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

「団塊の世代の文化活動による地域の活性化の可能性

～埼玉県における団塊の世代の文化活動のあり方を事例に～」

渡邊 享子さん(お茶の水女子大学 文教育学部人文科学科)

大賞・優秀賞の作品は、弊社発行機関誌「季刊 政策・経営研究 2009年 Vol.1」に掲載する予定です。

以上

【お問い合わせ先】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 広報部

〒108-8248 東京都港区港南2丁目16番4号

TEL 03-6711-1200(代表) e-mail info@murc.jp